

めいか

令和4年5月31日
文京区立明化幼稚園

挨拶から始まる人とのつながり

副園長 池田 克子

私は、コロナ禍になってから自転車で通勤をしています。電動自転車で約40分の道のり、毎日同じ道を通っていると、同じ時間に同じ人に出会います。4月、いつもと同じ道を走っていた時にふと寂しさを感じました。「行っていっちゃい」「気を付けてね」といつも元気に声を掛けてくれていた交通指導員の方がいないこと、また、別の場所で「おはようございます」と自転車で通る私にまでいつも必ず挨拶してくれた校長先生の姿もありませんでした。きっと、二人の方は、他の学校へ異動されたのでしょうか。お互い毎日同じ場所で同じ時間に挨拶を交わしていただけであり、特に名前も存じ上げません。ただ、私の中には、当たり前のように交わっていた挨拶がもうできないと思うととても寂しい気持ちになりました。「おはようございます」と毎朝一言の挨拶でしたが、その挨拶を通して、2人の方とのつながりや親しみを感じていたことに気付きました。コロナ禍で人との関わりが希薄になってしまうことが心配されていますが、挨拶でのつながりの大きさを改めて感じました。

幼稚園でも、子どもたちは毎朝玄関で園長先生と「おはようございます」と元気に挨拶して幼稚園に入ってきます。廊下から、職員室にいる職員に向かって挨拶をしてくれる子どももいます。降園時には、みんなが職員室にいる教員や事務、主事に「さようなら」と元気な声で手を振って挨拶してくれます。

挨拶が上手な明化幼稚園の子どもたちですが、廊下で出会い、「おはようございます」と声を掛けると、じっと顔を見ながら何も言わずに通り過ぎて行ってしまう、時々、こんな姿が見られます。もしかしたら、挨拶しようと思っているけれど、少し恥ずかしかったり、何と言っているのか分からなかったり、戸惑っているのかもしれません。挨拶はいつも決まった場所ですることもありますが、いろいろな場所で出会った人と交わすことの方が多くに思います。出会った人との元気な気持ちのいい挨拶がたくさん聞こえる明化幼稚園を目指し、私たち大人から意識的に挨拶の言葉を掛けていきたいと思います。そして、子どもたちがそんな大人の姿を見て、自分から自然と挨拶をし、挨拶を通じて人とのつながり、人への親しみが感じられるようになってほしいと願っています。

さて、今月は、幼稚園公開があります。保護者の皆様には、弁当の様子や遊びの様子などをご覧いただく中で、お子さんの成長を感じていただけたら幸いです。



登園時の園長との挨拶



職員室の職員への挨拶